

平成 22 年度 全国山岳遭難対策協議会開催要項

1 趣 旨

登山における遭難事故を防止するため、山岳関係者や山岳遭難対策関係者の参加を求め、山岳遭難の原因等について研究協議し、今後の遭難対策の具体的施策に役立てる。

2 主 催

文部科学省、環境省、警察庁、気象庁、消防庁、社団法人日本山岳協会、独立行政法人日本スポーツ振興センター国立登山研修所、山岳遭難対策中央協議会

3 期 日 平成 22 年 7 月 16 日 (金)

4 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター 国際会議室

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3 番 1 号

電話 03-3469-2525

FAX 03-3469-2277

5 参加者

(1) 各都道府県からの参加者は、次の①及び②に該当する者の中から 4～5 名とする。

① 各都道府県教育委員会の関係者

② 下記に該当する者

ア 各都道府県山岳遭難救助組織（都道府県遭難対策協議会、警察、消防防災、自然公園保護等）の関係者

イ 各都道府県山岳連盟（協会）の関係者

ウ 高等学校登山部（山岳部）の関係者

(2) 山岳ガイド、山小屋の関係者、旅行会社等のツアー登山関係者、メディア関係者、登山道具製造業関係者、登山道具小売業関係者

(3) 高等専門学校山岳部の関係者（顧問、監督、コーチ等）

(4) 大学山岳部の関係者（顧問、監督、コーチ等）

(5) その他山岳団体関係者

6 内容

(1) 開会式 10:00～10:15

(2) 報告Ⅰ 平成 21 年度中の山岳遭難事故概況報告 10:30～11:00

報告者：警察庁生活安全局地域課課長補佐 佐藤 孝治氏

(3) 報告Ⅱ 遭難事故の現場から(仮題) 11:10～12:10

報告者：松本広域消防局 渚消防署 署長補佐 消防司令 上兼 正宏氏

(昼食・休憩 12:10～13:30)

(4) 講義Ⅰ 13:30～14:40 (質疑応答 10 分)

「気象遭難を防ぐために」

講師：メテオテック・ラボ 気象予報士 猪熊 隆之氏

(5) 講義Ⅱ 14:50～16:00 (質疑応答 10 分)

「夏の低体温症」

講師：ふれあい東戸塚ホスピタル 整形外科医 金田 正樹氏

(6) 閉会式 16:00～16:20

7 日程表

	9:30	10:00	10:15	10:30	11:00	11:10	12:10	13:30	14:40	14:50	16:00	16:20
	受付	開 会 式		報 告 I		報 告 II	昼 食	講 義 I		講 義 II	閉 会 式	

8 申し込み

別紙様式に必要事項を記入の上、平成 22 年 6 月 30 日（水）までに、所属別に下記の関係省庁・団体等へ申し込むこと。

	所 属	申込先 F A X 番号	担当所属	担当者
1	警察庁関係者	03-3580-3014	警察庁生活安全局地域課	米森 昌一
2	環境省関係者	03-3508-9278	環境省自然環境局総務課自然 ふれあい推進室	中塚 仁司
3	気象庁関係者	03-3284-0180	気象庁予報部業務課	山本 浩嗣
4	消防庁関係者	03-5253-7576	総務省消防庁国民保護・防災部 参事官付	大澤 晃
5	山岳団体関係者	03-3481-2395	(社) 日本山岳協会	西内 博
6	1～5 以外	03-6734-3792	文部科学省スポーツ・青少年局 生涯スポーツ課	朝倉 徹

(別紙様式)

平成22年度全国山岳遭難対策協議会申込書

フリガナ		所属先・勤務先	役職	連絡先		
参加者氏名				〒	住所	電話番号
例	モンカ タロウ	〇〇〇	◇◇	〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇県△△市□□1-1-1	〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
	文科 太郎					
1						
2						
3						
4						
5						

※FAXにてお申込みください。

※宿泊、昼食の御準備は各自でお願いいたします。オリンピックセンター内には、レストラン等があります。

※申込み人数が多数の場合は申込書を複写して使用してください。

申込締切日:平成22年6月30日(水)

FAX送信先: